

VideoCD(ビデオ CD)

ホワイトブックで規定されている CD の動画記録フォーマット、CD-ROM/XA を利用し、MPEG1 で動画を記録する規格で、Philips 社と日本ビクターなどによって 1993 年に Video CD 1.1 として制定された。

DVD が高価で PC のスペックが低くて MPEG2 の編集が大変だったころ重宝した規格で VHS 程度の画質といわれていた。
日本ではあまり普及しなかった

NTSC の場合基本的には動画部 352 × 240 ピクセル、29.97fps、1.152Mbps で音声部が MP2*1 の 224 kbps、2 チャンネルの MPEG1 が利用される。

これの上位規格に中国で作られた「超級 2VideoCD」を規格化した SuperVideoCD というものも存在する。

当初専用プレーヤーも存在したが一般的な DVD プレーヤーで再生できることが多い

規格

項目	内容
解像度	NTSC 352 × 240 PAL 352 × 288
映像圧縮形式	MPEG-1 ビットレート 1150kbit
音声圧縮形式	MPEG Layer2 ビットレート 224kbit 44.1kHz
収録時間	74 分

コピーガード機能は無い

通常データ書き込み (ISO 9660 形式) に比べて約 100MB 余分に書き込める
(CD-ROM/XA の場合 700Mbyte の CD に約 800Mbyte 焼けた)

Version 2.0 では簡易メニュー機能や、高精細な静止画の再生もできるようになった。